

授業概要 (シラバス)

専門学校日本ホテルスクール

■科目基本情報

科目番号	GS101	分類	講義科目
授業科目名	国際情勢1	英文授業科目名	Current Affair I
年度	2024年度	年次	昼間部 1年 ホテル科・ブライダル科
開講学期	通年	授業の方法	講義科目
単位数	2単位	年間授業時間数	28.8時間
科目区分	一般教育科目	授業コマ数	24コマ
担当教員名	佐藤健太郎	実務経験なし	備考
経歴			

■授業・科目情報

学習目標	国際情勢を理解するために必要な知識は多岐にわたり、一朝一夕に獲得することは難しい。むしろ、知識を得るためのスキルを身につけること、世界情勢と日常生活が繋がっていると感じ、日ごろから情報を得ていく態度を養うことを重視した授業展開とする。そのため、座学だけではなく、ワークショップ、ジグソー法といった参加型の手法を活用し、体験型の学びをめざし、授業内でアウトプットをする機会を設けていく。		
教科書			
授業計画	回数	内容	
	1	オリエンテーション、講師自己紹介、ワークショップ(価値観の違いを考える)	
	2	ワークショップ(世界がもし100人の村だったら)	
	3	バーチャル海外旅行・準備編(国家、国籍、通貨、気候)	
	4	世界のマクドナルドから(物価、多国籍企業、食文化)	
	5	食料自給率とフードマイレージ(食料自給率、食料安全保障、自由貿易と保護貿易)	
	6	バーチャル海外旅行・プレゼンテーション編(食文化、観光地、各国事情)	
	7	ワークショップ(SDGsとは)	
	8	SDGsの考え方(ゴールとターゲット、バックカスティング、アースオーバーシュートデー)	
	9	ワークショップ(プラスチックごみ)	
	10	ワークショップ(ファッションとSDGs)	
	11	難民問題と日本で働く外国人(ビザ、ダイバーシティ&インクルージョン)	
	12	まとめ	
	13	ワークショップ(レアメタル)	
	14	ワークショップ(コーヒーカップの向こう側)	
	15	コーヒー生産国の現実(モノカルチャー経済、フェアトレード、レインフォレストアライアンス、エシカル消費)	
	16	経済と環境(シェアリングエコノミー、サーキュラーエコノミー、企業の社会的責任、ESG投資)	
	17	豊かさとは?(GDP、相対的貧困率、税と福祉国家)	
	18	世界の教育事情(アフターマティプアクション、識字率、高等教育進学率)	
	19	世界の人口問題(人口ピラミッド、合計特殊出生率、乳児死亡率)	
	20	データで見る国際社会	
	21	ワークショップ(国を紹介しよう1)	
	22	ワークショップ(国を紹介しよう2)	
	23	SDGsのこれまでとこれから(EDGs、ゼロエミッション、サステナビリティ)	
	24	試験	
授業の進め方	主にアクティブラーニング型の授業とワークショップ型の授業を織り交ぜて実施します。2つの方法でめざすことは下記の通りです。アクティブラーニング:事前課題に調べたこと、授業内で調べたことを土台にグループで議論をすることで、自分の見えていなかったことを共有し、知識を増やしていきます。ワークショップ:ケーススタディーや体験を通じて感じるだけではなく、その気づきを言葉にすることで学びを深めます。		
試験の実施方法	前期はレポートとグループワークの発表を通じて評価する。後期は試験で評価を行う。試験は試験期間に設定し、形式は文書試験とする。その他に自由課題を提示する予定。		
成績評価方法	本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。 ①試験得点 = 50%(10ポイント) ②出席率 = 50%(10ポイント) 上記の2つの項目をそれぞれ10ポイント(合計20ポイント)に置き換えて、そのポイントに応じてA,B,C,D,F評定を決定する。 尚、前提基準として①試験全体平均点の50%未満。または②出席率の50%未満に該当する場合には「F」評価とするが、通年教科の後期学年末の評価については、前期および後期全体の状況をもって算出する。		
関連科目	異文化コミュニケーション、国際情勢2		
参考書	適宜プリントを配布して授業を行う		
学生へのメッセージ	ホテル・ブライダルの現場では接するお客様の背景にも世界の動きは密接にかかわってきます。そのため、接客をする上で、国際的な知識が役に立つこともあるでしょう。この科目では、日々の国際ニュースを扱い、みなさんが「今」起こっていることを理解することはもちろん、世界の仕組みや外国の事柄、国際問題に対する考え方を育てるように、「見る」、「知る」を大事にして進めていきます。		

以上